

1.会長挨拶

平成27年度は、幸いにも、大きな事故、災害もなく終了しました。これも、偏に会員皆様のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

平成23年3月11日の東日本大震災発生以降、近い将来発生するであろう大規模震災をはじめ自然災害に対する備えの必要性が以前にも増して広く再認識されるようになり、また、海岸を目の前に控えた南三丁目自治会の皆さんの関心も一層高まったように感じております。

行政においても津波避難場所の指定など、新たな防災対策に注力する一方、住民の避難誘導、初期消火、そして高齢者や障害者などの緊急時要援護者への支援など初期救援活動については、行政の救援活動が開始されるまでの約1週間程度は、自助あるいは地域の自主防災活動などの共助に頼らざるを得ないとしています。

振り返って、自主防災組織、すなわち当自治会の現状を見ますと、人員、体制、機材、訓練などあらゆる面でその負託に十分耐えられる状況にはなく、自治会会員の一段のご理解とご協力をもって、今後、防災体制の一層の強化をはかることが焦眉の課題であると考えています。

また、社会福祉の面においても、出来る限り自治会をはじめとする地域での自助、共助によることを原則とし、専門的な知識・技術が必要なことを行政が担う体制に移行する方向にあります。したがって、私たちの生活を守るためにも、地域、自治会の力を向上させていくことがぜひとも必要です。

自治会加入世帯数は4月1日現在 419 世帯で、徐々に加入世帯が増加しています。このような中で、安全で暮らしやすい街づくりに微力ながら取り組んでまいりますので、皆様のご積極的な自治会活動への参画、ご協力をお願い申しあげて、ご挨拶といたします。